

# 富山県立大学ニュース

平成28年5月発行  
富山県立大学学生委員会

NO.111

## 平成28年度入学式

4月6日



入学式の様子 小杉文化ホール・ラポール



学長式辞



新入生代表誓詞

### CONTENTS

- News Digest
- 学生レポート
- 新任教員紹介
- INFORMATION など



## 平成27年度 富山県立大学環境マネジメントセミナー

富山県立大学2階L205講義室において、1月22日(金)に富山県立大学環境マネジメントセミナーを開催しました。

このセミナーは、環境マネジメントシステム「エコアクション21」について紹介することを目的に行われ、大東文化大学環境創造学部准教授の鶴田佳史氏による講演、県内企業によるエコアクション21への取組事例の発表に加えて、参加者が抱える環境経営に関する課題をワークショップ形式で議論するなど、実践的なセミナーとなりました。なお、セミナー後には情報交換会が行われ、受講者同士の交流の場が設けられました。



## ポートランド州立大学語学研修

2月18日(木)～3月12日(土)までの24日間、富山県立大学生8名が米国オレゴン州ポートランド市で実施される語学研修に参加しました。

この研修では、実践的な英語力を身につける英語授業や、ボランティアなどの好きなテーマを選択して受講する選択授業に加え、期間を通して現地家庭にホームステイをする英語一色の毎日を通して、学生は英語能力を向上させるだけでなく、米国文化や社会についてもより理解を深めることができました。今年度からは、この研修で一定の成績を収めた者について本学での単位として認定することとなり、より一層多くの学生の参加が見込まれます。

## 学内合同企業説明会

3月3日(木)・4日(金)の2日間にわたり、本学大谷講堂で、学内合同企業説明会を開催しました。この企業説明会は、平成29年3月卒業・修了予定の学生が企業の業種・職種等について研究し、企業の採用スケジュールなどについて直接企業の人事担当者から情報収集を行うもので、2日間で延べ294名の学生が参加しました。

企業は1日目が県外企業を中心に76社、2日目は県内企業を中心に80社、計156社が参加しました。

スーツに身を包んだ学生達は、熱心に各企業のブースを回り、人事担当者の説明を聞き積極的に質問していました。



## 中国大連トレーニー派遣

北陸銀行主催で中国大連へのトレーニー派遣が平成28年3月16日(水)～19日(土)の3泊4日で実施されました。本学からは2名が参加し、ほかに富山大学・金沢大学から参加して、ソフトバンク、YKKの見学や、大連理工大学生との交流会、旅順視察などを行いました。参加した学生は、他大学の学生や企業の方など違う環境にいる人たちと一緒に活動するという経験をしました。「見聞を広める」「普段できないことに挑戦する」という目標をもって参加した学生たちは、この目標を達成し、大きく成長して帰ってきました。

## 平成27年度学位記授与式

3月20日(日・祝)、アイザック小杉文化ホール・ラポールにおいて、平成27年度富山県立大学学位記授与式が行われました。式では、石塚 勝 学長が「積極性を持って社会に貢献する立派なエンジニア、リサーチャーとして大きく成長することを祈念する」と式辞。続いて寺井理事長が「自分の長所を伸ばし、今後の人生を切り拓いていただきたい」と挨拶を述べました。

また、石井隆一富山県知事が「夢や高い志、情熱を持って、果敢にチャレンジし、全国や世界の舞台で活躍していただきたい」と祝辞を述べられました。

式に併せ、各学科において成績優秀と認められた学生1名に、学長からベストチューデント賞が贈られました。受賞された方々は、次のとおりです。

工学部機械システム工学科	納 所 泰 華
工学部知能デザイン工学科	田 中 緑
工学部情報システム工学科	井戸田 悟 志
工学部 生物 工 学 科	高 柳 綾 奈
工学部 環 境 工 学 科	佐々木 謙 吾



## 応用技術研究会

3月29日(火)本学において、応用技術研究会を開催しました。

この研究会は、既知の開発技術または大学が保有する新技術から波及する新たな応用技術についてテーマを絞り、その技術についての情報提供や意見交換を通じて、企業に対して新たな可能性を検討していただくことを目的に実施されました。

今回は、画像の応用技術をテーマに、知能デザイン工学科の高野准教授、情報システム工学科の中田准教授が講師となり、コンピューターやカメラ等の画像技術について講演いただき、講義終了後にはさまざまな意見交換が行われました。

## 平成28年度入学式

4月6日(水)、アイザック小杉文化ホール・ラポールにおいて、平成28年度富山県立大学入学式が行われ、334名の新しい学生を迎えました。式では、石塚 勝 学長が、「初心を忘れず、社会に積極的に貢献する夢や志を持って、大学生活を送られることを祈念する」と式辞。続いて寺井理事長が、「こつこつと努力し、自己研鑽に努めていただきたい」と挨拶を述べました。

また、石井隆一富山県知事が「旺盛な好奇心をもって新たな課題にチャレンジし、学生生活を実り多いものとして下さい」と祝辞を述べられました。

最後に工学部の前 駿介さん、大学院の納所泰華さんが新入生を代表して誓詞を述べました。



## 本学教員等の受賞について

### 生物工学科 中島 範行 教授

第31回日本道路会議 優秀論文賞 H27.12.7受賞

受賞論文 「新たな非塩化物系凍結防止剤の利用可能性に関する研究」

<研究の概要等>

日本道路会議は、道路の行政、建設、維持管理、都市計画、道路交通に取り組む全国の関係者が、研究成果の発表、意見交換を行う我が国で最大の会議です。沿道環境への負荷が少ない新たな非塩化物系凍結防止剤として食品添加物の「プロピオン酸ナトリウム」に着目し、寒地土木研究所と共同で室内での金属腐食性試験および寒地試験道路で散布試験を実施しました。本論文は、冬期道路管理の高度化・効率化〔防雪技術開発〕部門において、特に優秀と認められたものです。



### 情報システム工学科 中村 正樹 講師

The 7th International Conference on Computer Science and its Application (CSA-15)

H27.12.15-17受賞

受賞論文 「Proving Sufficient Completeness of Constructor-Based Algebraic Specifications by Rewriting」

<研究の概要等>

ソフトウェアの信頼性、安全性を高める開発技術である形式手法では、形式仕様言語が重要な役割を果たします。本研究では、形式仕様言語の一種である代数仕様言語に対して、仕様検証に有効な構成子ベースという概念を取り入れた代数仕様を対象に、書き換え理論を応用することで、仕様の無矛盾性を保証する重要な性質である十分完全性を証明する手法を与えました。



### 環境工学科 佐伯 孝 講師

公益社団法人環境科学会 論文賞 H28.2.20受賞

受賞論文 「炭素繊維および炭素繊維強化樹脂への水熱反応の適用」

<研究の概要等>

炭素繊維および炭素繊維強化樹脂は、強度や軽量化が求められる分野で多用されていますが、炭素繊維強化樹脂のリサイクルは困難であり、リサイクル技術の確立が求められています。本研究では、水熱反応を適用することで、炭素繊維の表面に塗布されているサイジング剤を除去可能であること、400℃前後の水熱反応により、炭素繊維強化樹脂に用いられているエポキシ樹脂を分解し、炭素繊維を分離・回収可能であることを明らかにしました。



### 機械システム工学科 宮島 敏郎 講師

日本機械学会北陸信越支部賞 技術賞 H28.3.5受賞

対象技術名 「材料表面を対象とした機械的特性試験の新技术 「MSE試験評価法」 の開発とその実用性」

<受賞の概要等>

MSE (マイクロスラリー・ジェット・エロージョン) 試験法は、松原 氏、岩井 教授によるエロージョン研究の産学連携から生まれた、粒子投射技術を基盤とする材料表面の新しい機械的特性試験技術です。本試験技術がものづくりに必須な技術であり、社会に大きく貢献することが期待されることから、松原 亨 氏 (株)パルメソ)、勝俣 力 氏 (株)パルメソ)、岩井善郎 氏 (福井大学)、高澤拓也 氏 (福井大学) と共同で受賞しました。



### ERATO 松井 大亮

(ERATO浅野酵素活性化分子プロジェクトグループリーダー; 現生物工学科助教)

生物工学科 浅野 泰久 教授 (ERATO浅野酵素活性化分子プロジェクト研究総括)

日本農芸化学会 「2015年度英文誌 (Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry) 論文賞」

H28.3.27受賞

受賞論文 「Heterologous production of L-lysine  $\epsilon$ -oxidase by directed evolution using a fusion reporter method」

<研究の概要等>

海洋細菌 *Marinomonas mediterranea* NBRC 103028<sup>T</sup> が生産するL-リシン  $\epsilon$ -酸化酵素は、L-リシンの定量に有効であり、健康診断など利用できる酵素です。本酵素は、大腸菌の遺伝子組換え法により生産することが困難でしたが、抗生物質耐性遺伝子を融合して共発現させる手法を巧みに用いて、可用性の活性型酵素となる変異を導入し、大腸菌で生産することに成功しました。





公益社団法人 日本農芸化学会 2016年度農芸化学奨励賞 H28. 3. 27受賞  
 受賞研究「有用植物二次代謝産物の生合成機構に関する生化学および分子細胞遺伝学的研究」  
 <研究の概要等>

植物が作る多種多様な化合物のうち「二次代謝産物」とよばれるものには、医薬、化粧品、香料などの様々な分野で利用されている有用な化合物が多くあります。受賞者はこれまで、ムギ類、トコン、チューリップを主な研究対象として、そういった化合物が植物の中で作られる過程（生合成）を明らかにしてきました。本受賞は、これまでの一連の研究成果が農芸化学分野の進歩に寄与する優れた研究として高く評価されたことによるものです。

## 本学学生等の受賞について

受賞者	学科等	学会賞名	受賞年月	指導教員
出町 治香	情報システム工学専攻 前期課程1年	電子情報通信学会北陸支部 学生優秀論文発表賞	2016年1月	教授 松田 敏弘
北田 優	機械システム工学科4年	日本機械学会若手優秀講演フェロー賞（北陸信越支部第53期総会・講演会）	2016年3月	教授 川上 崇
田中 緑	知能デザイン工学科4年	電子情報通信学会2016年総合大会ISS特別企画学生ポスターセッション 優秀ポスター賞	2016年3月	講師 中井 満
小島 大輝	知能デザイン工学専攻 前期課程2年	日本音響学会北陸支部 優秀学生賞	2016年3月	教授 平原 達也

## 学生レポート

### PSU語学研修に参加して

富山県立大学 環境工学科3年 松浦 良輝

私は、平成28年2月18日(木)から3月13日(日)までの25日間、ポートランド州立大学(PSU)の語学研修に参加しました。私がPSU語学研修に参加した理由は外国人との交流でした。私はもともと旅行が好きで海外に行くときは外国人と会話したいという思いがあります。今回の語学研修はとてもいい経験となり、現地に行き大切なことも学べました。

PSU語学研修ではホームステイをしながら平日はPSUで授業を受けました。授業ではクラスメイトやクラスの先生と会話したり、学内や学外で外国人にインタビューしたりしました。私は英語が得意ではないので正直インタビューをすることに不安がありました。しかし、勇気を出してインタビューしてみると、その不安は消えました。インタビューした全ての方が嫌な顔一つせず答えてくれたり、インタビューが終わった後や通りすがりの方が話しかけてくれたりしたのでとても楽しく会話することが出来ました。私の拙い英語でも一生懸命聞き取ってくれ、さらに私が聞き取れなかった時はゆっくり簡単な単語に直してくれとても優しく接してくれました。

今回の留学で様々な経験をする事が出来ました。英語での生活はもちろんのこと、ホームステイや外国での慣れない生活は普段経験できないことなのでとても刺激を受けました。私が一番感じたことは自分からアクションを起こすことが大事ということです。そうすることで英語の上達が早くなりより楽しめると思いました。今回の語学研修で得たことを忘れないように英語を引き続き勉強していきたいです。

最後に、私はPSU語学研修に参加してとても有意義な時間を過ごすことが出来ました。有意義な時間を過ごすことが出来たのも様々な方のサポートがあったからであります。PSUのスタッフの方々、ANDEOの方々、そして大学関係者の方々にこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。



ホストファミリーとの写真

### フィリピン語学研修

富山県立大学 知能デザイン工学科4年 田中 祥太

私は、2月14日(日)から3月19日(土)まで約5週間、フィリピンのセブ島にあるCDU(CEBU Doctors University)付属の語学学校に通い、英語を学びました。フィリピンのセブ島と聞くと、多くの人がリゾート地であると考えます。実際、学校から30分程でリゾート地に行くことができます。しかし、今回の語学研修での、私の本当の目的は大学院入試で使用するTOEICを750点以上に上げること、また、スピーキング能力の向上でした。そのため、私は最も厳しいコースに参加しました。私の参加したコースは午前8時から午後5時まで授業があります。授業終了後、夕食のための休憩が1時間あり、午後6時から午後8時まで毎日TOEICの試験を受けます。その後、私は予習復習を午後11時まで行い、午前3時頃までルームメイトの韓国人と会話を楽しんでいました。授業のほとんどがマンツーマン授業であるため、生徒のペースに合わせて授業をしてくれます。また、生徒の話す割合が70%程度であるため、スピーキング能力も向上させることができます。休日は、ルームメイトの韓国人と遊びに行くことが多く、セブの街中を散策したりしました。学校を出ると多くのストリートチルドレンがいます。しかし、街中のショッピングセンターに行くと、親に服を買ってもらい喜ぶ子供達もいます。このように、貧富の差を非常に感じました。現在、フィリピンは外務省により危険区域のレベル1に指定されています。しかし、このような現状にも関わらず、語学研修に参加することに同意してくれた両親・親戚の方々、今回の留学でお世話になった方々すべてにこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。



韓国人のルームメイトとの写真  
(ツマサンフォールにて)

## 博士の学位授与報告

3月20日(日)の学位記授与式において、博士(工学)の学位を授与された方の氏名と論文題目は次のとおりです。

### 【論文博士】

(機械システム工学専攻) 木伏 理沙子

熱・電気連成解析を用いたパワー SiMOSFET内部の温度分布予測に関する研究

(生物工学専攻) 周 韜

Study on the polyketides produced by marine-derived Streptomyces sp.NPS554

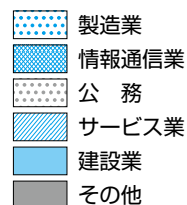
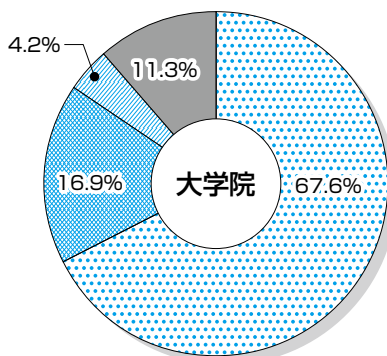
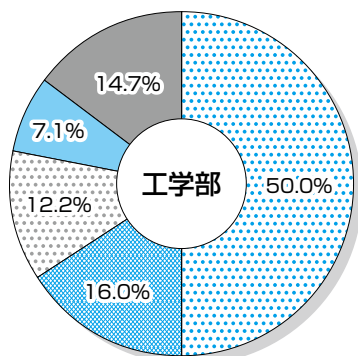
( 海洋由来Streptomyces sp.NP554が生産するポリケチドに関する研究 )

## 平成27年度卒業・修了生進路状況

	卒業・修了者数	就職者数		進学者数	
			うち県内就職		うち本学大学院
工 学 部	231 (45)	156 (33)	74 (21)	74 (12)	69 (12)
機械システム工学科	50 ( 2)	31 ( 1)	16 ( 1)	19 ( 1)	18 ( 1)
知能デザイン工学科	49 ( 6)	31 ( 1)	14 ( 1)	18 ( 5)	17 ( 5)
情報システム工学科	44 ( 7)	23 ( 6)	12 ( 5)	21 ( 1)	20 ( 1)
生物工学科	45 (25)	33 (20)	15 (10)	12 ( 5)	10 ( 5)
環境工学科	43 ( 5)	38 ( 5)	17 ( 4)	4 ( 0)	4 ( 0)
大学院・博士前期課程	74 ( 6)	73 ( 5)	24 ( 2)	1 ( 1)	0 ( 0)
機械システム工学専攻	27 ( 1)	27 ( 1)	7 ( 1)	0 ( 0)	0 ( 0)
知能デザイン工学専攻	18 ( 2)	18 ( 2)	3 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)
情報システム工学専攻	14 ( 0)	14 ( 0)	7 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)
生物工学専攻	8 ( 2)	7 ( 1)	3 ( 0)	1 ( 1)	0 ( 0)
環境工学専攻	7 ( 1)	7 ( 1)	4 ( 1)	0 ( 0)	0 ( 0)

( ) は女子内数

### 【業種別就職状況】



# 人事消息

異動区分	職	氏名	異動区分	職	氏名
就任 (28.4.1)	入試・学生募集部長 計算機センター所長 生物工学研究センター所長	松田 敏弘 松田 弘成 加藤 康夫	退職 (28.1.15)	事務局長	山本 修
新規採用 (28.4.1)	工学部教授 工学部准教授 工学部准教授 工学部准教授 工学部講師 工学部講師 工学部講師 工学部助教 工学部助教 工学部助教	村上 達也 清水 義彦 小山 靖人 呉 修一 上村 一貴 澤井 圭 中村 秀規 松井 大亮 春成 円十朗 安田 佳織	退職 (28.3.31)	工学部教授 工学部准教授	野村 俊樹 屋代 春樹
昇任 (28.4.1)	工学部教授 工学部教授 工学部教授 工学部教授 工学部講師	中川 慎二 神谷 和秀 唐山 英明 伊藤 始郎 本吉 達郎	転出 (28.3.31)	事務局次長・経営企画課長 教務課長 経営企画課長補佐 経営企画課長補佐・財務係長 総務課副主幹 教務課教務学生係長 教務課情報研究係副係長 経営企画課主事 経営企画課主事 経営企画課主事 教務課主事 教務課主事 教務課主事 教務課主事	荒見 信一 海下 雅人 沢井 俊男 北山 務 北林 徹 丸山 剛 中村 智恵子 斉勝 大知 前未 来 桶谷 奈都巳 中島 茜 宮腰 遥香 草島 ひかる 石田 朗大
転入 (28.4.1)	事務局長 事務局次長・経営企画課長 教務課課長 経営企画課課長補佐 経営企画課課長補佐・財務係長 経営企画課副主幹 教務課教務学生係長 経営企画課主任 教務課主任 教務課主任 経営企画課主事 経営企画課主事 経営企画課主事 教務課主事 教務課主事 教務課主事	田中 篤人 廣島 義雄 村山 麻美 上山 祥文 野田 真 水口 仁 野田 安宏 林 優美子 朝野 裕子 社浦 万由美 木田 大樹 正川 芹菜 澤田 菜摘 岡部 航太 石黒 僚介 針山 祐介			

## ●新任教員紹介●



### 教養教育 准教授 清水 義彦

これまで富山の県立高校で長く英語教育に携わって参りました。3年のクラス担任として大変お世話になった富山県立大学さんで勤務できることを大変光栄に思っています。また、昨年度末まで勤めた富山高専(射水)では、小杉、新湊地区の小中高校の先生方と「富山の若者の国際競争力を高める」という事業に取り組んできました。英語をコミュニケーションの道具として使いこなすには、小中高のそれぞれの教育現場でどんな授業環境が必要なのか、そしてそれぞれの接続はどうあるべきかを小中高の先生方とチームになって考えています。今後は、この経験を活かし、遅く英語プレゼンできる県大生の育成につなげていきたいと思っています。学生と一緒に取り組んでみたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



### 教養教育 講師 上村 一貴

4月より、教養教育の講師として着任いたしました。2013年に名古屋大学大学院医学研究科にて博士(リハビリテーション療法学)を取得後、名古屋大学未来社会創造機構の特任助教として研究活動に従事しました。応用健康科学、リハビリテーションを専門分野としており、特に高齢者の介護予防について研究しています。授業では教養科目である健康科学を担当し、健康支援や福祉の視点を学ぶことで、世界一の高齢社会であるわが国の技術者・研究者として活躍するための幅広い視野や教養力を育てられるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



### 知能デザイン工学科 講師 澤井 圭

4月より知能デザイン工学科知能システム工学講座に講師として着任いたしました。2010年に東京電機大学で博士(工学)を取得後、東京電機大学大学院工学研究科情報通信工学専攻・助教として勤務し、「教育」と「研究」に従事して参りました。私の専門は移動ロボットの無線遠隔操作方法や、複数の無線通信基地局を用いた移動ロボット遠隔操作の通信インフラ構築手法等について検討を行う「ネットワークロボティクス」です。教育と研究を通じて、客観的な考察力や論理的思考を養える機会を設けられるよう取り組んでいきます。よろしくご願ひ致します。



### 生物工学科 教授 村上 達也

皆さんこんにちは。この4月から西棟校舎の2階にいます。私も工学部出身です。1998年に博士後期課程を修了した後、東京の製薬会社に勤務した経験があります。大学では全くの基礎研究をしていたので、企業で世の中の役に立つ研究をしたいと思ったのです。しかし興味は変わるもので、利益だとか市場性だとか考えずに、もう少し自由に研究をしたいと思うようになりました。その後退職し、3つの研究機関を経て、富山へやってきました。色々経験してきたので、興味のある人は気軽に話しかけて下さい。喜んでお話しします。



### 生物工学科 准教授 小山 靖人

4月より生物工学科(医薬品工学担当)准教授として着任致しました。2002年に北海道大学にて修士課程を修了し、2005年に東北大学にて博士号(理学)を取得しました。その後、東京工業大学(日本学術振興会特別研究員、助手、及び助教)、北海道大学触媒科学研究所(准教授)を経て、本学に来ました。専門分野は有機化学であり、有機合成化学を基盤とした生理活性天然物の合成に加え、糖、ペプチドなどの生体分子の構造特性を活用した高分子、超分子の合成について研究しています。融合領域の研究ですが、地に足をつけ、しっかりじっくりと教育・研究に励む所存です。



### 生物工学科 助教 松井 大亮

2016年4月に工学部生物工学科酵素化学工学講座の助教として着任致しました。2011年に博士号(工学)を取得後、富山県立大学で五年間、博士研究員として研究に従事してきました。診断用酵素の開発の様に、酵素の産業利用を目指して研究を行ってまいりました。学生達と一緒に日々成長していけるように取り組むと共に、教育と研究を通して地域社会に貢献したいと思います。皆様からのご指導を承りますよう、どうぞよろしく御願い申し上げます。



### 生物工学科 助教 春成 円十郎

本年度より生物工学科、微生物工学講座の助教に着任いたしました、春成と申します。2014年に東京海洋大学にて博士(海洋科学)を取得後、本学の嘱託研究員として2年間勤務しておりました。専門は天然物化学で、微生物が生産する新規化合物や、コラーゲンやヒアルロン酸などの細胞外高分子の代謝を制御可能な化合物の探索に取り組んでおります。教員としては最も学生の皆さんに近いポジションだと思いますので、授業や実験を通して研究の面白さを積極的に伝えていく所存です。これからどうぞよろしくお願いいたします。



### 生物工学科 助教 安田 佳織

この4月より、生物工学科-医薬品工学担当の助教として着任いたしました。2004年に京都大学工学研究科で修士課程を終了後、福井県庁-環境政策課、(財)地球環境産業技術研究機構-研究員を経て、2008年に本学の生物工学科に研究員として参りました。2013年には本学にて論文博士号を取得し、現在に至るまで長くお世話になっております。これまで組織工学、細胞工学、薬物代謝学の分野の研究を行っており、今後、医薬品開発のための評価系・体内動態予測系開発など、人々の健康に貢献できる研究や教育に取り組んでいきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。



### 環境工学科 准教授 呉 修一

4月1日より環境工学科環境デザイン講座に着任いたしました。2008年に中央大学で博士(工学)の学位を取得しました。その後、カリフォルニア大学デービス校、北海道大学でポスドク研究員、東北大学災害科学国際研究所で助教として勤務してまいりました。専門分野は水工学、海岸工学であり、主に洪水や津波、高潮、高波等の水災害を対象としています。富山では津波リスク評価等の海岸防災に取り組んでいく予定です。「学生の学問・人間教育」、「世界最先端の研究」、「地域への真の貢献」を目指して頑張っていく所存です。どうかご指導のほど何卒よろしくお願いいたします。



### 環境工学科 講師 中村 秀規

4月に環境工学科講師として着任いたしました。環境政策専攻です。東日本大震災の体験を踏まえ、持続可能な発展に向けて、みんなにかかわることをみんなで決めて引き受ける仕組みづくり(ガバナンス)について研究しています。地球惑星物理学と政治経済開発でそれぞれ修士号、社会工学で博士号を取得しました。これまで途上国開発、経営コンサルティング、政策研究、持続可能な社会づくりのための大学社会連携に従事してきました。これらの経験を活かし、教育、研究、社会実践に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

# CAMPUS NEWS

## ■授業料(前期分)の振込期限・口座引落日は5月27日(金)です。

(1年生)5月初旬にお送りした振込用紙で振込みをお願いします。

(2年生以上)口座引落のため、引落日前日までに、ご登録頂きました口座に入金をお願いします。

【 授業料(工学部・大学院)： 前・後期各 267,900円 】

※上記授業料に加え、北陸銀行以外の金融機関からの振込・引落には、所定の手数料(在学生・保護者のみなさまのご負担となります。)が必要です。

問合せ先：事務局経営企画課財務係 TEL：0766-56-7500(内線218)

# SCHEDULE 平成28年度

		大 学 院	工 学 部
1 (水) 開学記念日	6月	6 (月) 進路ガイダンス	
		18 (土) オープンキャンパス	
		20 (月)、21 (火) 特別授業 (補講)	
		27 (月) 編入学試験	
2 (土) サークルリーダー研修会	7月	4 (月) 工学研究科入学者選抜	
		5 (火)、21 (木)、25 (月) 特別授業 (補講)	
6 (土) ダ・ヴィンチ祭	8月	6 (土) オープンキャンパス	
		3 (水)～12 (金) 授業又は前期試験	
		12 (金) 前期授業終了	
		23 (火)、24 (水) 工学研究科入学者選抜	22 (月)～9 (金) 集中講義
	9月		

## CAMPUS NOTE

### ダンスサークル



私達ダンスサークルは去年結成したばかりのサークルです。毎週木曜日に環境棟の予備室で活動しています。初心者でも楽しく踊ることができます！サークルを作った頃は、まだ入学したばかりだったため、どこに教室があるかもわからない状態で練習場所を模索していました。場所の確保では顧問の先生である石坂先生や事務局の方には大変お世話になりました！今では、たくさんのメンバーに恵まれて和気藹々と練習に励んでいます。みんな個性的でムードメーカー的存在の人や冷静にツッコミをいれる人、癒しキャラの人など本当にさまざまです笑 そんな個性的なメンバー達もダンスだととても真剣で、短期間でも完成度の高い作品を作ることができます。そんな私達は去年、合同ダンス発表会に出演しました。2分という短い間でしか踊ることができ、素敵な初舞台となりました。今年は県大祭や他のイベントにも参加していこうと考えています。私達と一緒にダンスをしてみたいという方は気軽に足を運んでください♪  
(部長 生物工学科2年 水間真鈴)



この用紙は資源保護のため、インキは植物油インキを使用しています。

再生紙を使用しています。

### 編集後記

近くの「道の駅」に行行列が出来て順番待ちになる人気のレストランがある。富山湾名物の白エビや紅ズワイガニを手ごろな価格で賞味できる。呼ばれて店内に入って席に着く途中、待ち時間のあいだ新聞でも読もうと振り返り際に、お店の配膳の方とわずかにニアミス、その拍子に御膳の味噌汁がこぼれた。思わずこちらが悪いと思って謝ろうとしていたら、真っ先にお店の方がすみませんと謝ってくれた。さらには、即座に、小生の洋服に汚れはありませんかとも気遣ってくれた。特に汚れはなかったので、ありませんかといってその場は一瞬にして過ぎた。お店の方は、もう一度作り直すためその御膳を持って店の奥に引き返していかれた。叱られていなければいいなと思いつつ、心温まるおもてなしの気使いに、感激した次第である。ここで、ふとこの一瞬の出来事を振り返ってみた。もし、あの時、自分の服が味噌汁で汚れていたらどうしただろうかと。責任のなすり合い、「気をつけてくださいよ。」と相手のせいにする言葉をかける可能性もあった。一方で、「どうってことないです。別にかまいませんよ。」と相手にねぎらいの言葉をかける可能性もあった。まさに、正反対の対応である。

人間は、他人に何かをしてもらおうと、お返ししたくなるという心理が働くらしい。最近の認知科学の知見では、人から親切にされた人は、赤の他人にも親切にするし、逆に不親切にされた人は、赤の他人にも不親切にすると言われている。これは、返報性の原理とも称される摩訶不思議な現象である。

ネガボ辞典なるものを御存じの方も多であろう。元々は、札幌の2人の女子高校生が先生と一緒に全国高等学校デザイン選手権大会でアイデア提案したのが始まりで、元気になれる「心のアプリ」と絶賛され、その後多くのメディアが取り上げるなど、話題沸騰し人気を博している。後ろ向きのネガティブな言葉を、前向きのポジティブな言葉に言い換える辞典である。前向きに物事をとらえることができるので、大変、参考になる。言い方ひとつ変えるだけで、他人を傷つけないで済むし、捉え方を別の観点から見ただけで、自分自身を勇気づけることもできる。現実を直視することは理にかなっておりもちろん大切だが、違った別の観点から現状分析を試みることも大切なことであろう。

(学生部長 中村清実)